

メーキャップ状況

- 4月6日(月) 梅田R.C. 堀井 孝一
- 4月6日(月) 和歌山アゼリアR.C. 武田 慎介、松田 洪毅、森川 宏昭
- 4月7日(火) 大阪南西R.C. 堀井 孝一
- 4月8日(水) 和歌山西R.C. 亀田 直紀、豊田 英三、森川 宏昭
- 4月9日(木) ライラ下見会 上中 崇司、田原 久一、野上 泰造
- 4月10日(金) 和歌山中R.C. 角谷 芳伸、田中 完児、豊田 英三

ニコニコ箱

- 藤田 昌宏さん うれしい事があまして。
- 岡本 哲爾さん 今年も満開の根来の桜を見る事が出来ました。
- 西本 亨さん 支局長、お話し楽しみにしています。
- 黒田 純一さん 気候が良くなって来ましたので。
- 谷口 文利さん 矢野様よろしくお願ひします。
- 中山 恒夫さん 時々屋形方面で遊んで頂いております。矢野一郎様をお迎えて。
- 山本 進三さん 先々週休んでしまい、クラブに余計な出費をさせてしまい、申し訳ありませんでした。
- 笹島 良雄さん 先日のお花見例会お世話になりました。
- 宮本 和佳さん 花見例会楽しかったです。親睦の皆さんご苦労様でした。
- 堀岡 忠男さん お花見例会を皆様と一緒に楽しみたい。
- 山野 武彦さん 矢野様の卓話楽しみにしています。
- 岸裏 廣澄さん 先週休ませて頂きました。
- 加藤 裕司さん 矢野支局長、お忙しい中卓話ありがとうございます。
- 瀧川 嘉彦さん 家内に花をありがとうございました。
- 糟谷 元春さん 桐蔭高校同期生の矢野さん、卓話楽しみにしています。
- 阪神タイガース応援団一同
- ガンバル金本さんでした。
- 八幡 建二さん 中日新聞矢野支局長さん、お忙しいなかありがとうございます。
- 前田 成蔵さん 中日新聞和歌山支局長矢野一郎様、本日の卓話ありがとうございます。

榎畑 友洋さん 本日、満開の桜のもとあちこちで入学式が行われているようですね。快晴で何よりです。

- 【皆出席表彰】
- 堀岡 忠男さん 入会させて戴いてから10年が過ぎました。これからも宜しく御願ひ致します。
 - 村田 昌之さん 1年皆出席



おめでとうございます!



ボールハリスフェロー

【本日の累計 81,863円(計19名 20件)(お誕生日お祝い 599,000円 皆出席 180,000円 その他 2,321,641円) 累計額 3,100,641円】

本日の例会 4月16日(木)

- 卓話 当クラブ会員 亀田 直紀さん
- お誕生日お祝い
 - 榎畑 友洋さん 4月3日 嶋 弘伸さん 4月3日
 - 山東 勝彦さん 4月11日 上中 崇司さん 4月11日
 - 中山 恒夫さん 4月26日 瀧川 嘉彦さん 4月27日
- ピアノ演奏 中井 利枝さん
 - スペインの雨(マイ・フェア・レディより)
 - 踊りあかして(マイ・フェア・レディより)

次回の例会 4月23日(木)

- 卓話 当クラブ会員 榎畑 友洋さん

前回の例会 4月9日(木)

- クラブフォーラム「雑誌」
- 卓話「新聞事業のアラカルト」 中日新聞和歌山支局長 矢野 一郎さん
- ロータリーソング 野上 泰造さん 「四つのテスト」
- 出席報告 田原 久一 出席副委員長 会員数53名(内出席規定適用免除会員9名)

4月9日(本 日)	35名	79.5%
3月26日(メイキャップ後)	43名	97.7%

市内ロータリークラブ情報	クラブ	日時	内容
	和歌山城南R.C.	4月16日(木)	卓話「和歌山の発展に必要なこと」国立大学法人和歌山大学学長 小田 章さん
	和歌山南R.C.	4月17日(金)	卓話「再入会させて頂き有難うございました」坂東 利仁会員
	和歌山中R.C.	4月17日(金)	クラブフォーラム「雑誌」
	和歌山北R.C.	4月20日(月)	例会変更
	和歌山アゼリアR.C.	4月20日(月)	卓話「薬物依存症について」和歌山ダルク代表 和高 優紀さん
	和歌山R.C.	4月21日(火)	卓話 長谷 智之会員
	和歌山西R.C.	4月22日(水)	雑誌月間にちなんで
	和歌山東南R.C.	4月22日(水)	クラブ活性化・例会委員会「市川前会長・津川会長対談形式」

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 創立/1959年2月23日
 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073) 424-9392 例会日 木曜日 12時30分
 事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845
 会報・広報委員会 嶋 弘伸 古屋 光英 笹島 良雄 武田 慎介 吉田 篤生



2008~2009年度 国際ロータリーのテーマ

「夢をかたちに」~Make Dreams Real~

2008~2009年度 和歌山東ロータリーのテーマ

「ロータリーの魅力再発見」

国際ロータリー第2640地区

和歌山東ロータリークラブ

URL: http://www.werc.jp
E-mail: info@werc.jp

2009年 4月16日(木) 週報 / VOL.50 No.38(通巻2401)



会長報告

八幡 建二 会長



皆さん こんにちは。先週のお花見例会では多数のご出席ありがとうございます。4月に入りまして6日から15日まで10日間、春の交通安全週間ということで違反の取締りや啓蒙活動しております。先日新聞に昨年一年間の交通事故の死亡者が5155人と書かれておりました。確か30年位前は15000人が亡くなっておりました。飲酒運転に対して厳しくなったとかいろいろな法の改正等で、1/3まで減っているということです。非常に良いことだと思いますが、ただお亡くなりになっている方の58.4%が65歳以上ということに驚きました。私共ロータリーの平均年齢が今、62.4歳ぐらいだと思いますので半数以上の人はどうか気を付けていただきたいと思います。新聞などで話題になっているETCの件、国から100万台分、5000円の補助が出るのですが、4月に入ってまだ10万台くらいは残っていますがなにぶん物が無いということで延期し、補助対象を40万台分プラスするそうです。ETCを付けておられない方はまだ間に合いますので、付けられて土曜日曜の1000円の高速を遠くまで走られてはいかかかなと思います。以上です。ありがとうございました。

幹事報告

前田 成蔵 幹事



皆さん こんにちは。先週のお花見例会では大勢ご参加いただきましてありがとうございました。
 ・和歌山県青年僧の会より、寄付のお礼状が届きました。
 ・ガバナー月信.....回覧
 ・50周年打ち上げパーティーのご案内 4月16日 18:30 東急イン
 ・本日例会終了後 理事役員会 開催

卓話

新聞事業のアラカルト

中日新聞和歌山支局 支局長 矢野 一郎さん



私は今、中日新聞の和歌山支局長をしていますが、定年まで産経新聞に勤務していました。四十年近い新聞社勤務のうち大半は編集、つまり良くも悪くも事件記者でした。しかし、あまり出来のいい記者ではなかったもので、五年間は編集を外されてPR、企画、事業を担当させられました。今日は事業担当時代に経験したことを話します。

皆さんはりんくうタウンで花火が打ち上げられていたことをご存知でしょうか?実はあれは私がプロデュースしたんです。あの阪神、淡路大震災の年の事でした。このとき企画室長だったのですが、大阪代表や常務からせつつかれて金のありそうな所を探し、考え出したアイデアでした。今は泉佐野市や泉南市も金欠で汲々としていますが、当時は閑空からの税

収でウハウハ状態でしたから、花火の企画には大乗り気で順調に話は進んでいました。その第一回の実行委員会の未明に地震が起きたのです。

企画室長として被災地へのアプローチを立案せねばならず、花火も進行しないと夏の開催に間に合わないのに家に帰れない状態でした。我が家は武庫之荘のマンションで震度7、妻はタンスの下敷きになり家中のガラス類はすべて粉々。ベランダには壊れたコンクリート片がころがり足の踏み場もない状況でした。後片付けを放棄して出勤して泊まり込み、妻に睨まれましたが、何とか急場は切り抜け、花火は泉佐野市が財政難で音を上げるまで約10年間近隣の人たちを楽しませる事ができました。

産経新聞にとって最大の事業は何といっても大阪国際女子マラソンです。皆さんは、一月の第四日曜日に正午からテレビをみているだけですが、準備する我々は大変なんです。大阪府、市、国道事務所の工事説明会に出席して開催当日に道路が走行が問題ないようにお願い、日本陸連には数回、上京して協力要請。大阪陸連とは週に一、二回の打合せ。そして、沿道の喫茶、レストラン、ガソリンスタンド、冠婚葬祭場等営業している所は

全て挨拶回ります。そして、開催一週間前には千里阪急ホテルに選手村をオープン。招待選手の受け入れ、陸連幹部の接待、三日前から深夜に車を走らせて違法駐車除去、開、閉会式の準備、沿道警備の人員配置、御堂筋のカラーコーン設置の人員と練習場所の確保等々、体の休まる暇無しの忙しさでした。

しかし、何といっても大会の正否は招待選手の確保に尽きます。私の担当時代の最も印象的だったのは皆さんも良くご存知のQちゃん、高橋尚子さん。小出監督には当時最強だった鈴木さんをお願いしたのですが、「この子は大き化する」と高橋を出場させ、結果は35キロでバテて七位、「必ず来年はリベンジさせて」と小出監督に予約をしていたら、翌年は名古屋国際女子に出場して見事、優勝。その年、シドニー五輪でアツと驚く金メダル。「なぜ、大阪で走ってくれなかったのか。」私の無念さがおわかりいただけましたか? といっって私はその際、事業を離れ、中部総局長として名古屋に赴任、Qちゃんの力走を競技場で応援していました。走り終わったQちゃんと小出監督を祝福しながら、恨み、辛みをいったのですが今その私が中日新聞に籍を置いていて、何とも複雑な気持ちです。以上